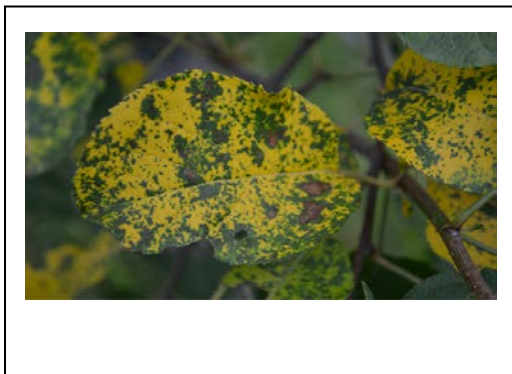
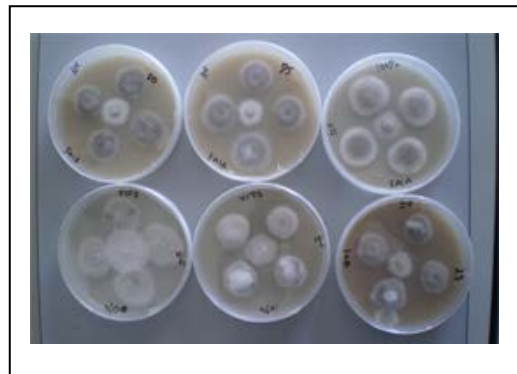


1. 担当教員： 杉山修一 （連絡先：農学生命科学部総務まで）
2. タイトル： リンゴ園における生物学的病害虫防除技術および森里における生産環境管理
3. 概要： リンゴは病害虫に弱く多数回の農薬散布が必要である。弘前市のリンゴ栽培では殺菌剤，殺虫剤を含め年間の散布回数は10回行われている。天敵や微生物などの生物による病害虫の防除が可能になると，生産者にとっては農薬費の削減や管理時間の節約，消費者にとっては安心・安全のリンゴを食べることができるメリットとなる。本研究では，葉に棲む微生物が特に落葉により大きな被害をもたらす褐斑病抑制に与える影響を評価する。
4. 参考資料



写真左：リンゴ褐斑病



写真右：リンゴの葉に棲息する内生菌